

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

2019年7-9月期の実質GDP成長率は前年比▲1.7%と、前期（4-6月期）の同+0.0%から悪化し、再びマイナスとなった（第1図）。需要項目別にみると、内需の低迷を映じて個人消費（同▲4.9%）と総固定資本形成（同▲10.2%）、輸入（同▲13.4%）は5四半期連続の減少となった。一方、輸出は歴史的な干ばつで穀物生産が低迷した昨年からの反動と米中通商摩擦による中国向け輸出の拡大（同+151.6%）により同+14.2%と2四半期連続で二桁増を記録し、輸入減と相まって純輸出は寄与度で同+6.9%ポイントと前期（同+9.4%ポイント）に引き続き高水準を記録した。

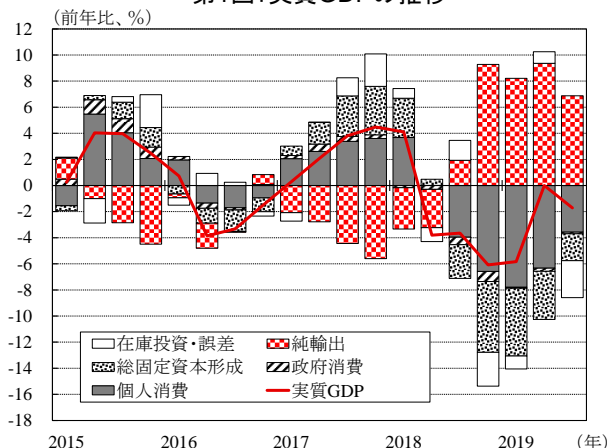
先行きについては、経済の低迷に政治面の不透明感の高まりも加わり、依然として楽観視できない状況である。昨年12月10日に誕生したフェルナンデス新政権は同国債務の再編を求めるほか、歳入増加への取組み姿勢を強めている。新政権は大統領選の公約である社会福祉支出の増額に向けた財源確保や経済の再活性化の促進を企図し、農産品を対象とした輸出税率の引き上げや国民の国外金融資産に対する新税の導入、外貨購入に対する課税等を盛り込んだ「社会連帯・生産性回復法案」を12月17日に下院に提出し、同月20日に下院、21日には上院の可決を経て早くも法案が成立した。所得再分配政策は低所得者層の消費拡大に寄与するとみられる一方、企業等については税負担の増加や規制強化による先行き不透明感が出てくる可能性もあることを踏まえれば、同国経済が低迷から抜け出す活路は依然として見えていない状況である。

2. 物価・雇用

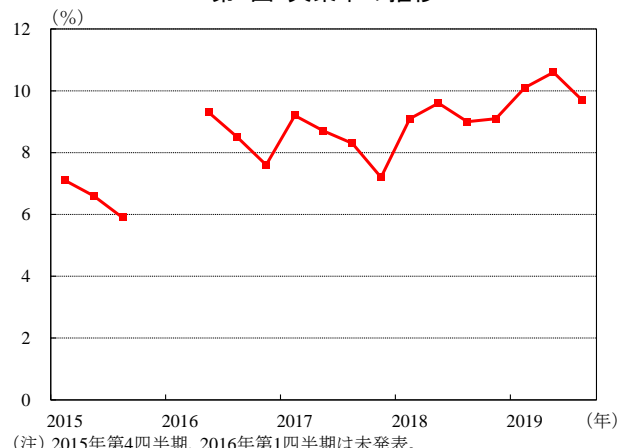
物価：昨年11月の消費者物価上昇率は前年比+52.1%と、依然高水準で高止まりしている。

失業率：昨年7-9月期の失業率は9.7%と、依然として高い水準である（第2図）。

第1図：実質GDPの推移



第2図：失業率の推移

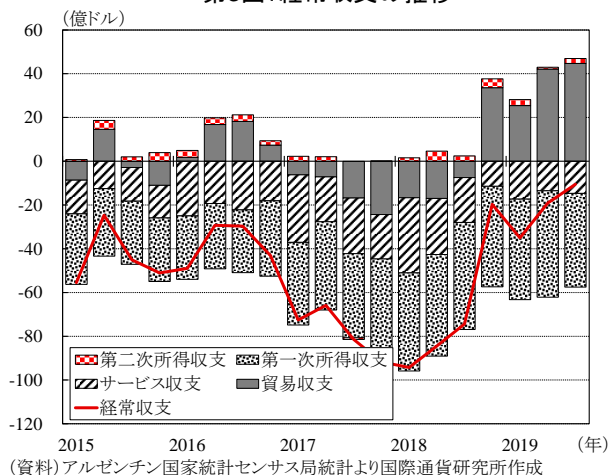


3. 経常収支・外貨準備高

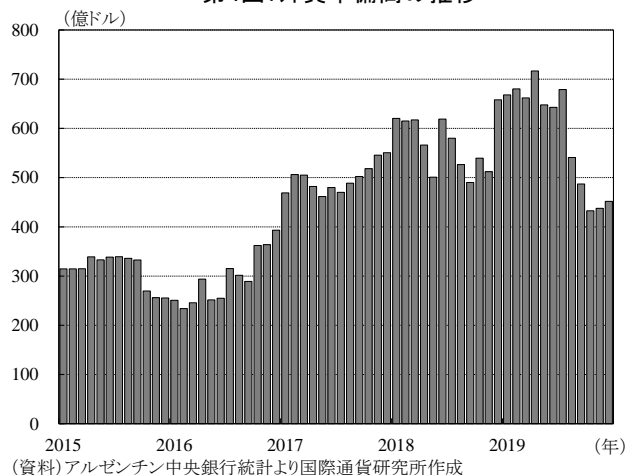
経常収支：昨年 7-9 月期の経常収支は 11 億ドルの赤字と、前期の 19 億ドルの赤字から赤字幅が縮小した（第 3 図）。前述の通り、内需の低迷を映じた輸入の減少と農産品を中心とした輸出の増加を背景に、貿易収支が 45 億ドルの黒字となったことが主因である。

外貨準備高：通貨危機を食い止めるために中央銀行がドル売りペソ買い介入を実施した影響で、昨年末の外貨準備高は 452 億ドルと前年比▲31.3%の急減となった（第 4 図）。

第3図：経常収支の推移



第4図：外貨準備高の推移



4. 金融市場

為替：ペソ相場は昨年夏ごろまで 1 ドル 40 ペソ前後で推移していたが、8 月の大統領選挙・予備選でフェルナンデス氏が予想外の大差で勝利したことで、先行き不透明感の高まりから大幅に下落した。足元では、同 60 ペソ付近の切り下がった水準で推移をしている（第 5 図）。

株価：メルバル指数は、昨年 7 月 11 日に過去最高値の 42,856.29 ポイントを記録したが、政治面の先行き不透明感の強まりから、9 月 3 日には 23,079.32 ポイントまで急落した。足元では徐々に回復しており、4 万ポイント付近で推移している（第 6 図）。

第5図：アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



第6図：株価(メルバル指数)の推移



アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	2.7%	▲2.1%	2.7%	▲2.5%	-
鉱工業活動指数(前年比)	0.1%	▲4.5%	2.5%	▲4.6%	-
建設活動指数(前年比)	-	▲13.8%	13.5%	1.9%	-
自動車生産台数(千台)	527	473	472	467	-
自動車販売台数(千台)	587	721	884	682	-
失業率(年末期)	-	7.6%	7.2%	9.1%	-
消費者信頼感指数	54.6	45.2	45.6	37.7	39.3
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	-	-	24.8%	47.6%	-
(年平均)	27.7%	40.7%	28.6%	36.3%	-
輸出(FOB)(億ドル)	568	579	586	618	-
(前年比)	▲17.0%	2.0%	1.3%	5.4%	-
輸入(CLF)(億ドル)	602	559	669	655	-
(前年比)	▲8.4%	▲7.2%	19.8%	▲2.2%	-
貿易収支(億ドル)	▲34	21	▲83	▲37	-
対外準備(億ドル)(年末)	256	393	551	658	452
ベースマネー(億ペソ)(年末)	6,239	8,217	10,011	14,090	-
対民間部門貸出量(億ペソ)(年末月)	8,583	11,246	17,012	24,383	-
(前年比)	35.6%	31.0%	51.3%	43.3%	-
経常収支(億ドル)	▲176	▲151	▲312	▲273	-
株価指数(メルバル指数)(年末)	11,675	16,918	30,066	30,293	41,671
対米ドル為替相場(年末)	12.95	15.83	18.83	37.66	59.87

2. 月次

	19年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実質GDP成長率(前年比)	┌	0.0%	┐	┌	▲1.7%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	▲8.9%	▲6.9%	▲7.2%	▲1.7%	▲6.4%	▲5.1%	▲2.3%	-	-
建設活動指数(前年比)	▲7.6%	▲3.4%	▲11.8%	▲1.9%	▲6.0%	▲8.7%	▲9.5%	-	-
自動車生産台数(千台)	30	30	24	22	31	28	32	27	-
自動車販売台数(千台)	28	28	37	39	38	27	27	23	-
失業率	┌	10.6%	┐	┌	9.7%	┐	┌	-	┐
消費者信頼感指数	34.4	36.5	40.6	44.2	41.9	42.1	43.8	41.4	42.4
消費者物価上昇率(前年比) INDEC	55.8%	57.3%	55.8%	54.4%	54.5%	53.5%	50.5%	52.1%	-
輸出(FOB)(億ドル)	53	60	52	59	56	57	59	59	-
(前年比)	2.3%	17.1%	2.1%	8.1%	7.0%	14.1%	9.1%	9.4%	-
輸入(CLF)(億ドル)	42	46	42	49	44	40	41	34	-
(前年比)	▲31.7%	▲28.0%	▲23.6%	▲20.7%	▲30.3%	▲14.9%	▲18.8%	▲21.9%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	12	14	11	10	12	17	18	24	-
対外準備(億ドル)	717	648	643	679	541	487	433	438	452
ベースマネー(億ペソ)	14,029	13,565	13,758	13,393	12,962	13,100	13,872	16,716	-
対民間部門貸出量(億ペソ)	24,701	24,836	24,677	25,247	27,955	27,212	27,818	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	▲19.14	┐	┌	▲10.52	┐	┌	-	┐
株価指数(メルバル指数)(月末)	29,571	33,950	41,796	42,058	24,609	29,067	34,995	34,500	41,671
対米ドル為替相場(月末)	44.03	44.83	42.38	43.82	59.12	57.59	59.78	59.92	59.87

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 麻野 文裕 fumihiro_asano@iima.or.jp
戸松 篤志 atsushi_tomatsu@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。